



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

娘が自衛官になって

大野 怜南母 大野 恵



不安な事はばかり考えている自分が恥ずかしく思えました。私は、娘を誇りに思い尊敬しています。今は、娘が私の目標です。娘が離れて家族の絆もより深まった気がします。この先も全力で応援していきたいと思

高3の進路選択の際、自衛官の従姉妹に声を掛けられ「自衛官になりたい。」と言いい試験を受けましたが結果は不合格でした。正直、内心ほっとしたのを覚えています。「自衛隊」と言つと親元を離れ、大変なイメージしかなかったからです。結局、娘は印刷会社に就職をしました。就職して半年経った頃「やっぱり人の役に立つ仕事がいい。」と言つたようになり2回目の試験を受ける決意をした様で、親に相談はなく突然「自衛隊を受けるから資料を貰いにいく。」と言われ「本気なのだな。」と私も覚悟を決めました。採用の連絡が来た時、娘の喜んでる姿を見て「良かったね。」と言いつつ寂しさも心配でいっぱいでした。しかし、担当広報官の方が本当に優しくいろいろ相談ののって下さり少しづつ不安も薄れていきました。

着隊までの間、娘との時間をたくさん過ごしました。着隊の日が近づくと、娘の不安も増してきたようですが「案ずるより産むが易しだよ。」と同じ後悔をするならやらすに後悔するよりやっつて後悔した方が良しよ。」と話しました。着隊当日、バスに乗り泣くのを我慢して手を振っていた娘の姿は、今でも忘れられません。一番不安なのは娘ですから、笑顔で見送ろうと決めていたので私は、笑顔で手を振りました。帰宅して、玄関に置かれていた娘の靴を見て涙が止まりませんでした。その日の夕方、娘から「皆良い人たちで、もう友達が出来たよ。」と連絡を受けホッとしました。娘は、私より強く頑張り屋です。

着隊4日目「私、陸曹目指して頑張る。」更に一週間目には「大変で疲れるし、叱られることも多いけど毎日充実しています。」と連絡があり改めて娘の選択は、間違えていなかったと思えました。娘一人では、決して乗り越えられないと思えます。同じ目標を持ち励まし合える仲間がいるからこそ、この先どんな壁にぶつかっても乗り越えていけるのだと思えます。苦業を共に過ごす仲間は、一生の宝物だと思います。そんな仲間に出会えるだけでも幸せだと思います。

娘は、前を向いて進んでいます。

不安な事はばかり考えている自分が恥ずかしく思えました。私は、娘を誇りに思い尊敬しています。今は、娘が私の目標です。娘が離れて家族の絆もより深まった気がします。この先も全力で応援していきたいと思



ご家族の地本訪問について



全体



本部長



保護者

前橋募集案内所（所長 宮本2等陸尉）は、令和4年3月30日（水）令和3年海上自衛隊一般幹部候補生に入隊した、片山龍之介3等海尉の保護ご家族（母）の地本訪問を支援した。

今回の地本訪問は、当案内所へご家族（母）から連絡があり、実現したものである。

群馬地方協力本部長へ海上自衛隊幹部候補生学校を令和4年3月12日（土）に卒業した近況報告をするともに入隊前の面接指導及び入隊業務に関するお礼の言葉を述べられていた。また、在校時の外出で学生の仲間とともに駅構内で足の不自由な高齢者女性を介助し、救護を実施したことによる、善行褒賞で表彰されたことも話されていた。

今後前橋募集案内所は、「入隊者のご家族から要望があった際は、支援等を実施し、募集広報活動への理解に努めていく」としている。



褒章表彰